

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課 (内線：7519)

1目 社会教育総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ケータイ・インターネット教育啓発推進事業	(6,356) 3,477	(2,354) 2,354	(4,002) 1,123			(3,879) (基金繰入金) 1,000	(2,477) 2,477	
トータルコスト	9,125千円 (前年度8,154千円) [正職員：0.7人]							
主な業務内容	協議会の企画・運営、フォーラム及び講座の開催等							
工程表の政策目標(指標)	-							

※上段()内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額
事業内容の説明

1 事業の目的・概要

ケータイ・インターネット(携帯電話、ゲーム機、パソコン等でのインターネット利用)の急速な普及の影で、子どもたちの健全な育ちが損なわれている現状から、メディアの送り手を含めた関係団体等による協議会及びNPO等と連携し、自発的なモラルづくりや草の根的な学習会の実施により、よりよい接し方についての啓発を図る。

2 主な事業内容

区分	事業内容
ケータイ・インターネット教育啓発の推進事業	アンケート等により把握した結果を踏まえ、緊急に取り組むべき「子どもたちのケータイ・インターネットとの接し方」にテーマを絞り、家庭・地域・学校等を対象とした研究集会及び講習会を開催する。 (委託先：ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会)
ケータイ・インターネットとの接し方フォーラム	県内の高校1校をモデル校に指定し、生徒会と連携した自発的なモラルづくり及び校内フォーラム等を開催する。 ○自発的なモラルづくり(生徒会・PTAと連携) ○校内フォーラム(生徒会と連携) ○実践報告会(11月、倉吉未来中心)
ケータイ・インターネットの正しい使い方講座	「ケータイの安全利用教室」など子どもたちがケータイ・インターネットを安全に利用できる技術について習得する講座を開催する。(県内5会場)
ケータイ・インターネット教育啓発講師派遣事業	携帯電話所持率の伸びが高校入学前が非常に多いことが明らかになったため、全中学3年生保護者を対象にした啓発講座(63講座)にケータイ・インターネット教育推進員を新たに派遣する。 また、地域住民や保護者(中学3年を除く)を対象にした啓発講座(37講座)にも推進員を引き続き派遣する。 (委託先：NPO法人こども未来ネットワーク)
(新)ケータイ・インターネット教育啓発広報事業	テレビコマーシャルを製作し、携帯電話を購入する年度末に集中的に放送する。(委託先：広告代理店) 【「安心こども基金」活用事業】
ケータイ・インターネットパトロール相談員配置事業	インターネットを監視する職員(ネットパトロール)を1名雇用し、インターネット上での出会い系サイトなどの有害情報、いじめやいやがらせなどの書き込みや学校裏サイトなどを継続的に監視するとともに、各学校等と連携した相談窓口(体制)を整備する。 (委託先：NPO法人こども未来ネットワーク) (ふるさと雇用再生特別交付金事業を活用：商工労働部一括予算計上) 雇用創出人数 1人

3 これまでの取組状況、改善点

平成21年度は、ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会に委託して、ケータイ・インターネットに特化したフォーラムを開催し、広く県民に啓発した。

NPO法人こども未来ネットワークに委託し、「鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員」の養成を行うとともに、年間100回以上の学習会を開催し、ケータイ・インターネットの光と影について地域や保護者の意識啓発を進めた。

平成22年度は、接し方フォーラムの開催、中学3年生保護者対象の啓発講座への講師派遣など、対象を絞って効果的な啓発に努める。